

Welcome to 授業

授業概要

プログラミング演習 は、現代のさまざまなソフトウェアを作成するプログラミング言語の基礎であるC言語を実践的な課題に取り組みながら学習する演習型の授業です。この演習ではC言語で情報を扱うためのデータ構造の基礎的な学習から、C言語による信号処理、画像処理の応用まで多岐にわたる課題を通して、より高度なプログラミング技術を学習しています。

学生から



この講義は、プログラミングの基礎から応用まで段階的なカリキュラムで授業が進められていくため、とても分かりやすく、着実に知識を深めていくことができました。世の中で活躍しているレベルから見ると、まだまだ基礎的な段階ですが、この基礎を大切に、確実に身につけ、今後のより発展的な内容の理解へと繋げていきたいです。

情報工学科2年 柳 悠大

プログラミングを学んでから2年目になり、今まで学んできたことを基礎として、発展的なプログラムを作成する機会が増えてきました。時には友人と悩みながら、今まで学んできた内容を組み合わせながらプログラムを作成していくのはとても楽しく、プログラムが完成し、正しい動作をすると嬉しく感じます。これからさまざまなプログラムを作成して新しい知識もどんどん取り入れていきたいです。

情報工学科2年 渋谷萌音



この授業では、さまざまなプログラムを作成します。最近では、画像を処理するものを作成しました。このように、普段スマートフォンなどで手軽に行える処理をするものを授業で扱うこともあるので、毎回楽しんで学ぶことができます。この授業で学んだことを生かして、これから先の授業も楽しんで学びたいと思っています。

情報工学科2年 針生綾子



宇都宮大学の情報工学科に入学してから、ずっとプログラミングの勉強をしてきました。最初は、簡単な計算をやらせるようなものでしたが、2年になってやっと画像処理という実用的なものになりました。もちろんプログラムはどれも難しいものばかりですが、その分プログラムの自由度も広がり、それが楽しみでもあります。

情報工学科2年 伏木麻友



教員から



情報工学科では、1年次から3年次にわたり、体系的にプログラミングの技術を学ぶ実習系の講義を構成しています。その一環であるこの演習では、より高度な課題に取り組んでいます。また、情報工学科専用の100台近くのコンピュータを備えており、いつでも学習に取り組める環境を整えています。自ら考え、自ら創ったプログラムがきちんと動作した時の感動を忘れずに、この演習で学んだことを基礎として、将来、立派なエンジニアになることを願っています。

情報工学科 准教授 藤井雅弘

(他、担当教員：石川智治、杜博志、篠田一馬)

工学部情報工学科プログラミング演習Ⅱ